

すみよし

第 7 1 号

発行所 社会福祉法人 一 寿 会
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6
 電 話 022-379-8030
 発行者 理 事 長 金 野 孝 彦

■住吉台こども園
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-0164
 ■仙萩苑（障害者支援施設）
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-8030
 ■一寿園（就労継続支援B型事業）
 仙台市太白区富田字南ノ西26番地 TEL(022)243-3447
 ■長命ヶ丘つくしこども園
 仙台市泉区長命ヶ丘三丁目20番10 TEL(022)772-0035
 ■名取みたぞのこども園
 名取市美田園五丁目3番地5 TEL(022)784-1020
 ■名取あけぼのこども園
 名取市増田六丁目1番40号 TEL(022)382-2711

印刷 令和7年10月29日
 発行 令和7年10月31日



■ 一 寿 園 (p8)

■ 住吉台こども園 (p2)

- ・夏祭り
- ・お泊り保育



■ 長命ヶ丘つくしこども園 (p3～p4)

- ・食育 カラフルゼリー作り
- ・感触遊び（寒天）
- ・色水 泡遊び



■ 名取みたぞのこども園 (p4～p5)

- ・科学タイム
- ・七夕誕生会
- ・お部屋の中で氷遊び



■ 名取あけぼのこども園 (p6)

- ・プール開き誕生会
- ・食育 とうもろこしの皮むき



■ 仙 萩 苑 (p7)

- ・夏祭り
- ・日中活動



■ 一 寿 園 (p8)

- ・健康診断
- ・ふれあい製品フェア



住吉台子ども園

夏祭り



七月十九日に子どもたちの法被姿を照り輝かせる日差しの中、夏祭りが行われました。初めて着る法被姿の子もいる三歳未満児さん。はちまきをねじり「祭」の文字を目立たせてくれた三歳以上児さん等、子どもたちが元気に登園してくれました。練り歩きでは、三歳以上児さんの各クラスの工夫がいっぱいの可愛いお神輿と共に「ピッピッ、わっしょい」の声が響き渡りました。三歳未満児さんも親子で元気に練り歩きができ、とてもかわいらしかったです。その後は、いよいよ三歳以上児さんによるソーラン節が行われました。きりん組さんによる組体操は



和太鼓に合わせてポーズが決まりとても感動的でした。きりん組さんのかっこよさに大きな拍手が鳴り響き子どもたちも輝いていました。ぞう組さん、くま組さんもお父さん、お母さんの応援を目の前にして、いつも以上の声の大きさではりきって踊る姿がとても印象的でした。いよいよコーナーが開店すると、友だちや保護者の方と楽しんで回っていました。今年はジャグリングを見るステージや、遊ぶコーナーのたこやきビンゴ、そしてみんなが大好きなコーナーが盛り沢山でキラキラ光る物を「見てー」と保育教諭に笑顔で見せてくれたり、嬉しそうにお散歩バールンを引っ張って歩いている姿が見られ、とても微笑ましい光景でした。子どもたちの頑張る姿や喜ぶ姿、笑顔が沢山見られた素敵な行事となりました。(保育教諭 尾形 美有紀)

お泊り保育



八月一日から二日にかけてお泊り保育が行われました。お泊り保育をずっと楽しみにしていた子どもたちは登園直後から何が始まるのかワクワクした様子でした。一日目はタクシに乗って根白石プールに出かけました。園のプールとは違ったプールに大興奮の子どもたち。イルカになって泳いだり、保育教諭や友だちと水の掛け合いをしたり、楽しみました。園に戻ってからは、すいか割り、宝探しゲーム、染物バック作り、夕食作り等、盛り沢山のお楽しみに「今日、すごい楽しい」と普段とは違った特別感と楽しさを感じているようでした。夜には自分たちで作ったランタンを持って、お化け屋敷へ行きました。ランタンの明かりが点くと更に綺麗な作品に友だち同士、見せ合いながら喜んでいました。花火をしたり、映画を見たりして夜まで大満喫の子どもたちでした。二日目は、はがき作りをしました。楽しかった思い出を文字や絵に表して世界に一つだけのはがきを作りました。後日、届いたことを友だち同士で楽しそうに話していました。最後の報告会では「だいだいだいぼうけん」を披露しました。子

どもたちの夏の冒険は楽しい二日間になりました。

(保育教諭 渡辺 愛美)



長命ヶ丘つくしこども園

食育・カラフルゼリー作り



七月八日に、三・四・五歳児で食育活動「カラフルゼリー作り」を行いました。サイダーの青色とカルピスの白色で、夏の涼しさをイメージしたゼリーにしました。子どもたちは、カルピスゼリーをボウルからデザートカップに丁寧に入れた後、次にサイダーゼリーを入れて白と青のきれいな二層のゼリーにして盛り付けました。透明なカップを使用したことで、青色と白色がきらきらと輝くようなゼリーに仕上がりました。



ゼリーを混ぜ合わせて楽しむ子もいて、思い思いに盛り付けをしました。ゼリーの上にみかん缶とパイン缶のフルーツをトッピングして、オリジナルのゼリーが出来上がりました。ゼリーの入った器を横から見たり、下から見たりして色の変化を楽しむ姿が見られました。子どもたちの中には「宝石みたい」という子もいて、きらきら光る様子をじっくり眺めていました。完成したゼリーは午後のおやつに食べました。自分で作ったゼリーの味は、格別で、おいしく味わうことが出来ました。暑い季節に涼やかさと、作ることの楽しみを感じた食育活動となりました。

(栄養士 熊谷 直美)

感触遊び(寒天)

八月六日に一歳児りす組保育室で寒天を使って感触遊びをしました。はじめは袋に入った寒天を恐る恐るツンツンと触っていました。徐々に慣れてくると握って感触を楽しんでいました。「ぷにぷに」「つめたいね」と言いながら友だちと顔を見合わせて笑う姿もありました。袋越しの寒天に触ることに慣れてから寒天をタライに入れて直接触ってみました。直接触ることに戸惑っていた子どもたちもいたので、保育教諭が「にぎにぎしてみても」と触ってみせると、真似をしながら触れ始め、最後には自分から寒天を掴んでダイナミックにひんやりとした感触を味わいながら遊んでいました。「こわれちゃった」「たのしい」等の嬉々とした声が飛び交い、大喜びのりす組でした。楽しい時間はあっという間で、片付けの時間になると「またやろうね」「たのしかったね」と次回を期待する声が聞かれました。今後も様々な遊びを工夫しながら、季節の遊びを楽しみたいと思います。

(保育教諭 廣崎 琴美)



色水・泡遊び



八月二十九日に三歳以上児クラスの、さらさらタイムを二階テラスにて行いました。前日から楽しみにしていた子どもたちは「はやくやりたい」と、急いで水着に着替えて準備をすると、とても真剣に説明を聞いていました。初めは三クラス縦割りのグループに分かれて移動し、異年齢で関わりながら色水、泡に触れることを楽しみました。色水では絵の具と水性ペンを使った時の色の違いを楽しんだり、手作りのプラ容器のタワーに色水を入れたりしながら友だちと一緒に遊ぶ姿が見られました。「ピンクになった」「混ぜたら色

が変わった」と驚きや発見の言葉が沢山聞かれました。泡遊びの方では初めは控えめに触れて遊んでいた子どもたちも、冷たさやこもこした手触りの面白さに気付き、ダイナミックに触れて泡に親しむことが出来ました。異年齢で泡を頭や手足に付け合い、泡まみれになって遊ぶ姿も見られ嬉しい気持ちになりました。楽しい時間はあっという間で、片付けの際には「またすぐやりたい」「楽しかった」と、子どもたちの声が響きました。夏ならではの遊びを存分に楽しむことができ、良い異年齢児交流になりました。引き続き子どもたちが楽しめる活動を工夫していきたいと思います。

(保育教諭 山川 怜子^{やまかわ れいこ})



名取みたぞのこども園

科学タイム



六月十二日、五歳児クラスで科学タイムが行われました。「水玉ころりん」という内容で、水の入った袋に鉛筆を刺したらどうなるのか、網じゃくしでコップに蓋をしたら中の水はこぼれるか等、水の性質について学びました。

鉛筆の実験では、「鉛筆を刺したらみんなに水かかったら」「水だけ隙間から漏れてくる」とクラスの中で予想していました。三・二・一の掛け声に合わせて鉛筆を刺し、こぼれてこない水を見た子どもたちは「なんでこぼれないの?」「すごい」と言い大興奮でした。次に、鉛筆を抜いたらどうなるかを考えました。「シャワーみたいに出てくる」「水はそのまま出て来ない」と周りの友だちと予想し合う姿が見られました。結果は、シュートとシャワーの様に出てきました。そこで講師の先生が「なぜ出て来たと思う?」と質問すると「空気が押し出しているのでは?」「袋がしぼんだ」と言い、空気が関係している事に気が付いた子どもたちでした。その後はスポイトを使い、

透明のカップの上に水を垂らすと、コロコロと水滴が転がる性質を利用して、水玉ころりんゲームをしました。水滴を二個垂らし、合体しないよう上手にカップを回して笑顔で楽しむ姿が多く見られました。今後、子どもたちの疑問や意見を尊重しながら、保育教諭も子どもたちと一緒に考えたり体験したりすることで、新たな発見や楽しさを共有していきたいよう保育に努めていきたいと思えます。(保育教諭 木崎 亜優果^{きさき あゆか})



七夕誕生会



七月八日、ホールで七夕誕生会が行われました。七月の誕生児は十二名。

嬉しそうに前に出てきた子どもたちは「何歳になりましたか?」「好きな果物はなんですか?」という質問に、少しドキドキした様子を見せながら答えていました。お友だちから誕生カードをもらい、みんなで誕生日の歌を歌ってお祝いすると、嬉しそうな顔を見せてくれます。その後は、七夕制作の発表。年長組が作った七夕飾りがステージに飾られており、保育教諭が「これなんだ?」と問いかけると、指を差して次々に「七夕!」と自分たちの作品を自信



満々に他クラスの子に教えてくれました。すると他のクラスの子どもたちも興味津々で見る姿も。その盛り上がりそのまま、他クラスの代表の子が、自分たちで作った七夕飾りの発表をしました。作品を見せながら、少し恥ずかしそうに「かっこよくなるように作りました」「〇〇のところに頑張りました」と自分の言葉で作品について教えてくれました。お楽しみは「織姫と彦星」のパネルシアターです。二人の出会いや、一年に一度しか会えない理由について、子どもたちはじっと集中して見えています。その後はみんなで「七夕のうた」を歌い、綺麗な歌声がホールに響き渡り、七夕の雰囲気を感じていました。(保育教諭 中川 琉月)

お部屋の中で氷遊び

近年、厳しい暑さが続き、戸外に出て遊ぶことが難しい日も増えてきましたね。その中、二歳児クラスのうさぎ組では、お部屋の中でも水や氷の冷たさを感じたり、遊びを楽しめたりできるように、氷遊びを設定しました。大きな水に加え、氷の中におもちゃを入れたもの、スプーン、プラスチックのコップ、トイカプセル等、のびのびと氷遊びができるよう、様々なものを用意しました。保育教諭が遊び方を説明している時には、目がキラキラ輝き、期待が高まっている様子のうさぎ組さん。氷遊びに入ると、手で氷を触り「冷たい」「気持ち良い」と話したり、氷の



中に隠れているおもちゃを出そうと何回も氷を手で触り、溶かそうとしたりする姿も見られました。また、スプーンを使い、氷をすくうと、コップに入れて食べ物に見立てたり、トイカプセルに入れてマラカスを作ったりする子もいました。手や服が濡れても気にせず、遊び込んでいる姿を見て、嬉しく感じました。暑い中でも、夏の遊びができるよう、今後も楽しい活動を考えていきたいです。

(保育教諭 村山 和佳奈)

名取あけぼのぐも園

プール開き誕生会

六月十一日にプール開き誕生会が行われました。六月生まれのお友だちにステージに出てきてもらい、子どもたちにもインタビューすると少し緊張しながらも、名前や好きな食べ物等を大きな声で話す姿がありました。ホールにいる皆から大きな拍手や「おめでとう」の声に包まれ、誕生児のお友だちは少し照れながらもニコニコ笑顔になっていて、とても温かく楽しい時間となりました。そして、お楽しみでは「ペンギンのプールのたいそう」を踊りました。三歳以上児も三歳未満児も音楽に合わせて体を動かして踊る姿が見られました。その後、三歳未満児は各部屋に戻り、三歳以上児はホールでプールの約束事を聞きました。保育教諭の話を集めて聞く様子や、質問を大きな声で答える姿があり、プールや水遊びをする日を楽しみに待つ様子がありました。給食は特別メニューで、ご飯がカエルの形をしていました。給食を見た子どもたちは「カエルの形してるよ」

「お顔もあるね」等と周囲の友だちや保育教諭と嬉しそうに言葉でやり取りを楽しむ姿があり、いただきますの挨拶をするところという間に完食し、とても楽しい一日となりました。

(保育教諭 齊藤 莉衣)



食育・ とうもろこしの皮むき

七月二十四日に食育活動として、とうもろこしの皮むきを行いました。春に畑やプランターでさつまいもやピーマン、ナスなど様々な食材を育て、食育への興味関心が高まった子どもたちは大好きなとうもろこしの皮むきをとっても楽しみにしていました。最初はとうもろこしの話とクイズを行い、知る機会を設けました。栄養士からとうもろこしの育ち方や種の色、栄養などについて教えてもらい、赤紫や白、色々な色が混ざったとうもろこしがある事を知ると「こんなのもあるんだ！食べてみたい！」と興味津々の姿が見られました。クイズでは「とうもろこしで

出来ているお菓子は何か?」「美味しいとうもろこしはどっち?」など写真やイラストを使い子どもたちに問いかけると「こっちなかな?」「ポップコーンだよ!」など、真剣に考えたり友だちと話し合ったりする姿も見られ、正解すると喜び合ったり「そうだったんだ」と新たに気付きを得る姿も見られました。とうもろこしの皮むきは三・四歳児クラスで行い、栄養士のアドバイスを聞きながら早速挑戦しました。皮が硬くなかなか剥けず苦戦する姿もあれば、あっという間に剥き終わり、とうもろこしのひげを丁寧に取る姿などもありました。終わった後は匂いを嗅いでみたり、つるつるした感触を味わってみたりしながら、綺麗に皮を剥くことが出来た喜びを味わう子どもたちでした。実際におやつで食べたとうもろこしはとても美味しかったようで、おかわりもいっぱい食べていました。自分たちで育てるだけでなく、実際に食べる前の状態の食材に触れ、五感で感じる事で食材への興味関心が更に広がりをみせています。今後も、食育活動や栽培活動を通して様々な食材に触れ、その食材について知る機会を設けていきたいと思っています。

(保育教諭 星 はるな)

仙萩苑

夏祭り



七月二十日、仙萩苑では夏祭りが開催されました。今回の行事は、感染症流行以来はじめての家族参加の行事でした。久方ぶりに入居者と家族との対面となれば自然と期待が高まってきます。二階縁日会場にて射的やワニワニパニックに風船割り、コスプレパチンコ?など四種類の屋台を用意し入居者の皆様に楽しんでもらいました。ちなみにコスプレパチンコとは、景品におしゃれアイテムを用意し、サンングラスやカツラを身に着けて会場を回っていただきました。お昼は一階食事会場へ移動していただきました。そこでは山村部長より焼きパフォーマンス!! 焼き鳥や焼きそばなど丹念に作っていただきました。家族と過ごされている入居者を見ると感慨深いものがありました。今後も入居者と家族の皆様が安心して生活できるよう取り組んで参ります。

(生活支援員 庄司 正広)
しょうじ まさひろ



日中活動

日々の日中活動では、境遇の違う入居者の方々の意向に添えるよう、一人一人への丁寧な問い掛けを心掛け、活動しています。読書・テレビ鑑賞・音楽鑑賞・パズル・紐通し・計算ドリル・刺繍・編み物・塗り絵・折り紙・ビーズアート・ホログラムスクラッチアート等選択し、それぞれのペースで取り組み、苑生活を楽しく自分なりの生活リズムで過ごされています。興味や希望、心身の状態に合わせて多種多様な活動の提供が選択できるようコミュニケーションを図り、関係性の構築に努め支援にあたっていきたいと思っております。

(生活支援員 吉本 美雪)
よしもと みゆき



一寿園

健康診断



八月、サンピア仙台で健康診断がありました。利用者は日程を五日に分けて少人数で健診を受けに行きました。今回女性陣は健診着に着替えたので、レントゲン撮影がスムーズに進みました。途中までは順調だったのですが、まさかの採血できない人が!?夏場だったので油断していました。恐らく車内の冷房で体が冷えてしまったのでしょう。本人は「今日は温かい飲み物も飲んできたのに」とショックな面持ち。腕を下げて血液を集めたり、さすって温めたり、代わる代わる血管を探しに来る看護師さん。こちらは見守るしかありません。一回ではうまく血液が採れず、針を刺された所は痛々しかったですが、やっとのことで成功した時は「おぉー!」とその場が沸きました。これを教訓に、来年はスムーズな健診を目指したいと思います。備忘録として、ここに記しておきます。

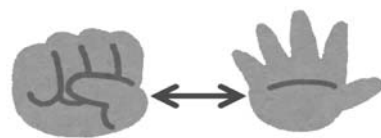
(職業指導員 渡辺 寿子)



温かい飲み物を飲む



ホットタオル・カイロで温める



手をグーパーする



上着を着る



深呼吸をする



事前の水分摂取

ふれあい製品フェア

九月三十日、勾当台公園いこいの広場にてふれあい製品フェアが行われました。天気も良く、明日から十月になるといよいよ暑い日でした。車で搬入後、利用者さん一名も加わり一緒にタープ設置、製品を並べて準備していききました。久しぶりの販売会だったこともあり、慣れないタープ設置で既に汗だくになりました。一寿園は木工玩具の人気があります。店前に沢山並べたので賑やかになりました。十時半から販売開始となり、お客さんもちろはらとお店を覗きにきてくれます。「私はニャンコに目がなくてね」と猫の木工品を吟味して購入する方や「孫に買って行こうかしら!」など、様々なお客さんに手に取っていただき、正にふれあいの場となりました。十二時からは消防音楽隊の演奏が始まり、ちょっと客足が増えた印象。みんなの手拍子もあり、暑い日差しの中、一生懸命演奏していました。久しぶりの外での販売会で、心身共にリフレッシュできた一日となりました。

(職業指導員 渡辺 寿子)

編集後記

クマの出没が全国各地で相次いでいます。仙台市内にも出没し、怖さを感じています。熊が人里に降りてくる主な理由は食糧不足、気候変動、生息地の縮小などあるそうです。もしクマに遭遇したら…死んだフリ? いえいえ違います。クマに向き合ったままゆっくりと後退し、距離をとりましょう。大切なのは、慌てず騒がず、クマを刺激しないこと。

